

中・上級者向けカリキュラム一覧

学習経験を活かして、より高い得点力を身に付けることにこだわったカリキュラムです。

戦略的
カリキュラム

Point 1

基礎知識の再確認

横断的な内容の学習を通じて知識を再構築し、理解を深めます。ここで基礎知識をしっかり再確認し、次のステップへの土台を作ります。学習経験のある方こそ、しっかりと足元を見つめ直し、合格の土台となる基礎知識の再確認が必要です。他の受験生ができる基本的な問題を確実に得点すること、これが合格には大切です。

Point 2

より高い得点力の養成

問題演習を中心としたカリキュラムで、知識をブラッシュアップしていただきます。学習経験を活かし、より高いレベルの得点力を養成するために、TACが誇る質の高い答練へチャレンジしてください。その際には、学習経験者というアドバンテージを活かし、答練では上位に入るようチャレンジしてください。

Point 3

必要な内容を強化できるコース設定

学習経験がある方が必要とされる講義内容は人それぞれ違います。TACでは、多様なニーズに対応するコースをご用意しています。皆さんの学習したいコースがきっと見つかるはずです。

※コース詳細は31ページ以降をご覧ください。

基礎編

論文式試験に必要とされる知識の土台をしっかりと作ることが重要な時期です。

応用編

理解・暗記が不足している知識の把握や補填、総合的な実力をつけていくことができます。

実力完成編

今まで身につけた知識をフル活用して、問題演習を中心に、自分の実力を客観的に把握して、弱点の克服を目指します。

短答式試験対策

短答横断講義 <全15回>

講義	休憩	講義
85分	10分	85分

INPUTの効率化のため、毎回の講義は特許法・実用新案法・意匠法・商標法の四法を、関連するテーマごとに横断的に学習します。読解困難な条文や整理しておくべき知識について、知識の定着を目指します。

短答逐条講義 <全12回>

講義	休憩	講義
85分	10分	85分

出題頻度の高い部分など重要ポイントについて整理し、短答式対策の総仕上げを行う講義です。使用する「短答要点集」は図表を多用し、条文、要点、本試験出題履歴、過去問等をまとめているため、より深く条文の確認を行うには最適です。

短答的中答練 <全10回> 採点有

答練	休憩	解説講義
120分	10分	50分

本試験と同様のバリエーション豊かな問題にチャレンジしていただき、知識の正確性に加え、正答までのスピードを上げることを目的としています。豊富なデータの個人別成績表で得意・不得意分野などもチェックできます。

60問を3時間30分で解答するので、1問につき3分30秒、1問は5枝で構成されているので、1枝約42秒で判断することが必要です！

短答式全国公開模試 <全3回> 採点有

模試
210分

本試験と同レベル・同一形式で実施する全国公開模試です。1問ごとの正答率がわかる個人別成績表で自分の弱点や苦手分野の把握、全国レベルでの自分の位置の確認もでき、本試験前のシミュレーションには最適です。

短答ファイナルチェック <全2回>

講義	休憩	講義
85分	10分	85分

短答式試験の直前に実施される最後の講義です。「6時間で5点UP」を目指した「直前予想問題」や「ライバルに差を付ける重要論点」などを網羅した「短答ファイナルチェックシート」を使用した講義で本試験への最後の備えを行います。

短答式試験

論文式試験対策

論文基礎講義 <全14回>

講義	休憩	講義
70分	10分	70分

答案の書き方を一から身に付けていきます。簡単な「一行問題」形式で頻出分野や論点の要点が確認できる、論文対策のポイントを網羅したテキストで、事例問題へチャレンジするための基礎力作りを行います。

論文上級講義 <全12回>

講義	休憩	講義
70分	10分	70分

論文で点数が伸びない原因は、大きく分けると「知識不足」「事例問題への対応力不足」「論理展開力不足」の3点です。これらの原因を解消し、事例問題を解く際に使えるスキルとテクニックを身につけていきます。

論文応用答練 <全10回> 採点有

答練	休憩	解説講義
60分	10分	110分

本試験で出題される事例問題に必要な「答案構成力」と「当てはめ力」を養います。本試験レベルの事例問題を解く前に、一段階簡単な事例問題にチャレンジし、本試験レベルにつながるトレーニングを積んでいきます。

論文的の中答練 <全12回> 採点有

答練	休憩	解説講義
特・実120分 意・商90分	10分	50分

これまで身につけた「答案構成力」、「当てはめ力」をフル活用して本試験レベルの問題を解いていただきます。中・上級者も数多く参加する答練であり、本試験に対応できる水準へと実力を引き上げることができます。

論文直前答練 <全8回> 採点有

答練	休憩	解説講義
特・実120分 意・商90分	10分	50分

論文対策の総仕上げをする答練です。本試験で出題が予想される問題を数多く出題し、答案作成→添削→復習というサイクルを続けてもらうことで、総合力を養うとともに、知識の抜けをチェックしていきます。

論文式全国公開模試 <全3回> 採点有

模試		
特・実120分	意匠90分	商標90分

本試験と同レベル・同一形式で実施する全国公開模試です。論文式本試験は3科目、合計で4通の答案を1日で書き上げるハードな試験です。毎年的中が出る良質な問題で、本試験の1日をシミュレートしてください。

論文ファイナルチェック <全3回>

講義	休憩	講義
85分	10分	85分

限られた時間で要点チェックのできる、重要ポイントを網羅した「論文ファイナルチェックシート」を使用し、最新情報を反映した内容の講義をお届けします。

論文式試験



論文式（選択科目）を受験される方
文系の方も理系の方も

著作権法が！
オススメです！

1+9/パターンで攻略する
著作権法対策コース
2012年秋開講予定

※詳細は2012年8月に刊行予定の
著作権法コース案内をご覧ください。

※講義時間や休憩時間は目安であり、講義の進行状況などにより実施時間が異なる場合がございます。予めご了承ください。